



2023年8月14日

各位

会社名 株式会社 ラックランド
代表者名 代表取締役社長 望月 圭一郎
(コード番号：9612 東証プライム)
問合せ先 取締役管理本部長 鈴木 健太郎
(TEL：03-3377-9331 (代表))

2023年12月期第2四半期(累計)連結業績予想と実績との差異に関するお知らせ

2023年2月14日に公表いたしました2023年12月期第2四半期連結累計期間(2023年1月1日～2023年6月30日)の連結業績予想数値と、本日公表いたしました同期間の実績値に差異が生じたので、下記のとおり、お知らせいたします。

記

1. 2023年12月期第2四半期連結累計期間(2023年1月1日～2023年6月30日)連結業績予想数値と実績値との差異
(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	20,100	250	284	155	19円65銭
実績値(B)	22,926	83	194	△106	△10円42銭
増減額(B-A)	2,826	△166	△89	△261	-
増減率(%)	14.1	△66.7	△31.7	-	-
(ご参考)前期連結実績 [2022年12月期第2四半期]	17,971	△372	△101	△211	△21円05銭

2. 差異の理由

受注が好調であったことを受け、売上高は前回予想値を上回りましたが、各段階利益は主に下記の①～③の要因から前回予想値を下回る結果となりました。

- ① 2023年5月から7月にかけて実施した特別調査委員会による調査(以下「本調査」と称する。)により判明した過年度財務諸表(2018年12月期から2022年12月期)における不適切な会計処理に関し、過年度の決算の訂正は行わず、2023年12月期第1四半期連結累計期間の財務諸表に含めて処理したこと(過年度分の不適切な会計処理の同期間の主な損益への影響は、売上高66百万円の減少、営業利益121百万円の減少、経常利益137百万円の減少、親会社株主に帰属する四半期純利益98百万円の減少となります)
- ② 本調査の調査費用220百万円を特別損失として計上したこと、及び、本調査によって認識された未払下請代金額に係る遅延損害金23百万円を営業外費用として計上したこと
- ③ 想定より売上総利益率が低かったこと

売上高は、前回予想値比で2,826百万円上回る結果となりました。過年度修正分として、66百万円をマイナス計上しましたが、複数の大型物件の受注があったことや、想定より連結相殺金額が少額であったため、前回予想値を上回る結果となりました。

営業利益は、前回予想値比で166百万円下回る結果となりました。売上高は前回予想値より上回り、また、販売費及び一般管理費も想定より抑制できたものの、売上総利益率が想定より下回ったことと、過年度修正分として121百万円が営業利益にマイナス方向に影響したため、前回予想値を下回る結果となりました。

経常利益は、前回予想値比で89百万円下回る結果となりました。前述の営業利益における前回予想値との差異要因に加え、本調査によって認識された未払下請代金額に係る遅延損害金23百万円を営業外費用として計上した一方、為替差益94百万円を営業外収益に計上したことが主な要因となります。

親会社株主に帰属する当期純利益は、前回予想値比で261百万円下回る結果となりました。前述の経常利益における前回予想値との差異要因に加え、本調査による調査費用220百万円を特別損失として計上したことが主な要因となります。

なお、通期の連結業績予想につきましては、2023年7月28日付の「特別損失の計上のお知らせ」のとおり、2023年12月期第3四半期連結累計期間（2023年1月1日から9月30日）において特別損失の計上を予定しておりますが（注）、2023年8月14日付の「特別利益の計上のお知らせ」で公表しましたとおり、投資有価証券の売却益を見込むことなどから、2023年2月14日に公表いたしました予想に変更はございません。今後の動向に応じて業績予想に変更が生じた場合は速やかに開示いたします。

（注）2023年12月期において計上を見込む特別調査費用（特別損失）については、2023年7月28日現在で集計出来ている概算として約669百万円にて公表しておりましたが、2023年8月14日現在で約727百万円となります。

以上